

議会だより



沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第182号

発行：令和7年 9月 8日



「第44回金武町畜産共進会」が8月6日、金武町立体育館下で行われました。審査では和牛の雌雄と月齢ごとに部門が細分化され、発育状態や体形、毛並み等を競いました。入賞した和牛は、今帰仁村家畜セリ市場で開催される「第49回北部地区畜産共進会」に金武町代表として出品されます。

主
な
内
容

一般質問P2~14

伊藝菊博P2／吉野 潤P3／松田健人P4／喜久山盛彦P5／山里 均P6

仲村広美P7／伊藝直樹P8／大城政敏P9／池原 務P10／與那城直也P11

池原政文P12／島袋彩花P13／前田健次P14

令和7年第3回(6月)定例会等.....P15~20

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT 098-968-2292

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.lg.jp

きんてん(均霽)とは、ひと・うるお「均しく霽う」という意味で、町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行1号の際に命名しました



令和7年 第3回(6月)定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊藝 菊博 議員

行政サービス

伊藝議員

実証実験を行っ

ている各地区公民館での住民票等交付サービスの利用者数と役場での住民票等交付件数は。

仲間一町長

証明書交付

サービスは、令和2年度から現在までに中川区で1件の利用があった。役場窓口での住民票等交付件数は令和6年度9444件となっている。

伊藝議員

コンビニ交付サ

ービスの実施については。

コミュニティバス利用者数

	中川区	並里区	金武区	伊芸区	屋嘉区
運行回数	43 回	44 回	51 回	6 回	50 回
利用者数	123 人	75 人	205 人	6 人	623 人

町長

(左表のとおり)

伊藝議員

コミュニティバ

スの活用状況は。

伊芸慎一郎住民生活課長

利用率に対しての導入経費、ランニングコストの点から慎重に議論して検討していく。

島袋博総務課長

一般路

伊藝議員 本格的なコミュニティバスの導入を検討した方がいいと思うが。

町内観光

伊藝議員

福花橋付近への

駐車スペースの確保や駐車マナーの啓発が必要だと思

うが。

町長

金武町観光協会、観光関連等と連携し対応策を検討していく。



福花橋付近の状況

伊藝議員

町内観光案内ガ

イドの現状は。

町長

金武町観光協会が実

施している金武町ガイド養

成講座は、令和2年度以降36名が受講しガイドとして認定されており、その中で金武町の自然、歴史、文化財、ガイドの心得、現場での実践シミュレーションを行うなど必要な知識を学んでいる。

部活動地域移行

伊藝議員

関係機関等と協

議を開催したことがある

か。

比嘉貴一教育長

金武町

部活動指導者連絡会を開催し、各部の指導者と意見交換を行っている。

伊藝議員

教員の働き方改

革についての見解は。

教育長

出退勤管理システ

ムの導入、スクールサポートスタッフの配置、学校閉庁日とリフレッシュウィークの設置など教育環境の整

備に努めている。

伊藝議員

部活動地域移行

について今後の具体的な計画は。

教育長

スポーツクラブ、

民間スポーツ事業者、スポーツ競技団体等の受け皿となる団体や民間事業者等がなく課題となっている。今後も、先進地における取り組み等を参考に検討していく。

伊藝議員

地域移行になっ

た場合の責任は。

教育長

町が指導員として

学校に受け入れ、何かあった場合は、導入した学校、教育委員会にも責任が及ぶと考える。地域のスポーツクラブに移管しそこで事件が起きた場合は、スポーツクラブに責任の所在がある。そこを踏まえて、保護者の納得のうえで地域のスポーツクラブ等に移管されるものとする。



吉野 潤 議員

農業振興

吉野議員 今後の農道の修復を踏まえた管理体制は。

仲間一町長 金武町土地

改良区や各区と情報共有しながら、道路の状況等を確認し、劣化や農業者への影響が大きい箇所から優先的に補修等を行っている。また、令和7年度から農道等維持基管理業務を実施しており、農道の除草や伐採、側溝等の浚渫を行うことで農道の維持管理に努めている。

吉野議員 農地周辺の法面などの大木対策は。

町長 金武町土地改良区や農家等からの情報を基に、枯れ木や倒木、ハウス等へ

影響が生じる恐れがある樹木等について、現場を確認しながら、危険度の高いものから優先的に除去できるよう伐採に取り組んでいる。また、私有地については、高木となる前に伐採・管理していただけるよう、農家や所有者への呼び掛けについて取り組んでいく。

吉野議員 松くい虫による枯れ木の伐採作業の進捗状況は。

町長 県のリュウキュウマツ景観保全事業を活用し、令和5年度において屋嘉・伊芸地区で321本、令和6年度において町内全域で838本を伐採・焼却処分している。令和7年度においても夏ごろに被害状況を調査・確認しながら、可能な限り早期に伐採・処分に取り組んでいく。

吉野議員 赤土流出対策について。

町長 未然防止の対策として、農家に対し、圃場周囲

へのグリーンベルトの設置やマルチの活用等の対策徹底を促すとともに、金武町土地改良区と連携し、排水側溝や沈砂池等の定期的な浚渫管理などの対策を講じている。

吉野議員 セグロウリミバエに対する町の対応は。

町長 国や県の関係機関と協働し、薬剤を浸み込ませたテックス板の設置及び誘殺トラップの増設を行っている。主に、露地栽培や薬品による防除が不完全な家庭菜園での寄生が多く確認されていることから、町民に対し、町広報等で栽培自



テックス板

体育施設の管理状況

吉野議員 金武ベースボールスタジアムのナイター照

明の状況。

比嘉貴一教育長 電気業者による調査を行った結果、全6基96灯のうち69灯が点灯不良となっており、夜間等の利用に支障をきたしている。

吉野議員 原因の究明は行っているのか。

仲間権社会教育課長 点灯不良の原因として、供用開始から10年が経過しており、経年劣化が主な要因であり、取替時期に来ているとの報告を受けている。

吉野議員 ギンバル地域の体育施設のネーミングライツの考えはないか。

教育長 これまでギンバル地域の体育施設等でキャンプを受け入れているプロスポーツチームの関係企業等と相談してきたが、決定には至っていない。

吉野議員 情報を収集して営業をかけていけば手挙げるところも出てくるのではないか。

社会教育課長 ギンバル地域のスポーツ施設はかなり活用されており、大会が行われるたびに多くの人が来るため、企業には宣伝効果があると思う。早急にネーミングライツの導入に向けて進めていきたい。

吉野議員 ベースボールスタジアムのサブグラウンドバックネット裏へのトイレ設置の可能性は。

教育長 サブグラウンドは利用が限定的で一度に使用する人数も多くないことから、現時点ではバックネット裏へのトイレ設置の計画はない。

吉野議員 バックネットの位置をセンター側と逆にしたら使い勝手も良くなり、トイレにも近くなると思うが、検討の余地はあるか。

教育長 現場に行って図上でも反転することが可能かどうか、使い勝手なども含めて総合的に検討したい。



松田 健人 議員

金武町複合庁舎建設

松田議員 基本設計と実施設計現時点での変更点は。

仲間一町長 より利便性や効率的かつ機能的な庁舎運用を目的とし、各諸室の配置変更を検討している。

松田議員 宿泊機能部分の大きな変更点は。

安富祖勧複合庁舎整備推進課長 海外移住者子弟研修生を最大6名を受け入れられる個室タイプから間仕切りも可動式で多目的で使えるような案を検討している。

松田議員 コワーキングスペースだと会議室や無料塾、災害時にも利用でき、個人や企業でも利用できる。

ほか、町民からの要望もあるので検討していただきたい。

複合庁舎整備推進課長 様々な意見を踏まえて、宿泊研修機能をそのまま保持するか、他の用途で活用するのか、今後の議論の中で検討していく。

松田議員 庁舎の工事完了と供用開始の時期は。

複合庁舎整備推進課長 令和10年の1月から3月頃までと考えている。

松田議員 今後の町民説明会の予定は。

複合庁舎整備推進課長 実施設計完了前までを目途に開催する予定である。

高速道路金武インター出口の渋滞緩和

松田議員 関係機関、関係市町村との協議について。

町長 渋滞問題の早期解決には米軍のETC普及率向上が必要と考え、沖縄防衛局長や金武地区渋滞対策検討委員会において、朝の渋滞の現状と原因を伝え、普及率向上対策が講じられないか協議をした。

松田議員 具体的にどういった対策を考えているか。

糸村昌敏企画課長 ETCカード代行発行の民間業者をキャンプ・ハンセン所属の軍人・軍属に周知ができるかというところが今後普及率を上げるための方策の一つだと考えている。

松田議員 ETC普及と併せて料金所に向けての車線を増やしたらどうかと考えるが。

企画課長 NEXCOと協議していきたい。

松田議員 スマートインターの協議状況及び設置の可能性は。

町長 キャンプ・ハンセン第4ゲート付近の県道104号線に接続する予定で沖縄県に設置を要請、防衛大臣、沖縄防衛局長に設置に向けた協力を依頼している。

伊芸慎一郎住民生活課長 これまでの粗大ごみの処理券購入が1万枚程度であり、これを町内の世帯数で除すると、1世帯からの粗大ごみは年間2個程度となる。また、通常の家庭生活を営む中で、一度に多量の粗大ごみが出されることはほとんどないであろうという判断で1世帯から1か月5個までの個数制限を設けている。

松田議員 協議をした結果、関係機関の反応は。

企画課長 防衛局との協議の場では軍用地の共同使用や返還等の手続きが必要となり、時間を要するので引き続き調整していくことの確認がなされている。

粗大ごみ等の処理

松田議員 粗大ごみの定義は。

町長 一般家庭から排出されるもので、主にタンスやソファといった大型の家具、自転車やゴルフクラブなどの金属製品、炊飯器やドライヤーなどの小型家電が粗大ごみとなっている。

松田議員 1世帯から搬入できる粗大ごみが1ヵ月5個の根拠は。

伊芸慎一郎住民生活課長 これまでの粗大ごみの処理券購入が1万枚程度であり、これを町内の世帯数で除すると、1世帯からの粗大ごみは年間2個程度となる。

松田議員 引っ越しや実家の片づけ等で一度に大量の粗大ごみが出る場合は処理できるのか。

住民生活課長 事前に予約していただくことによって、1世帯月に5個までという個数制限を解除して受け入れることになっている。

松田議員 町による粗大ごみ収集の実現は。

住民生活課長 住民サービスの向上という点で、町が回収業務まで行えば不正搬入がさらに防止できるため、どのような仕組みでやっているところである。



喜久山 盛彦 議員

高校生の通学費の一部補助について

喜久山議員 県のバス通学

支援事業の対象者以外への通学費を一部補助する考えはないか。

仲間一町長 町出身の高

校生は約360人と推計しており、町が通学費を支給するには多額の予算がかかる。権利教育である高校生の通学費を全額一般財源で確保することは厳しく、財源の確保が必要だと考えており、今後検討していく。

喜久山議員 中学3年生が

親への負担を考慮して第一志望ではなく通学費の負担が少ない高校を選択する家庭もあると聞くが当局の見

解は。

町長 残念なことだと思

喜久山議員 恩納村では、

県の事業対象から外れた生徒を対象に令和6年度から通学支援を実施しているが、町として事業計画を検討したか。また、恩納村へヒアリングをしたか。

島袋博総務課長 恩納村

とは情報共有をしている。名護東線の減便は金武町、宜野座村、うるま市、名護市とも関係しており、町だけでは問題を解消できない。沖縄県本島中北部東海岸地域公共交通協議会の場合でも要望を出しており、「金武町地域公共交通計画」も策定中であるので、その中で総合的に判断して検討していきたい。

喜久山議員 一般会計補正

予算第2号で総務課から出ている245万について、バス通学の件との関連は。

総務課長 名護東線減便、

町長の出張旅費

喜久山議員 令和6年度の

町長の県外国外への各出張回数及び日数、費用について伺う。

町長 令和6年度の県外出

張回数は9回、日数は26日、費用は131万9140円。国外出張回数は1回、アメリカとコロンビアを経由し、ブラジル、ペルー、ポリビアの3カ国で、日数は19日である。

喜久山議員 令和7年度の

町長の県外国外への各出張回数及び日数、費用について伺う。

町長 5月末時点で、県外

出張回数は1回、日数は2日、費用は12万3570円となっており、国外への出張はない。今後の予定と

しては、県外出張が10回程度、国外出張が1回となっている。

喜久山議員 国内、国外へ

の出張の際、飛行機の座席は普通の庶民感覚で利用するエコノミークラスか。

総務課長 国内においては

Jシートの使用、国際線においてはエコノミーとビジネスの間にあるプレミアムエコノミーである。

喜久山議員 5年間も人間

ドックを受診していないのに、「健康面を配慮して、エコノミーではなく上のクラスの座席にしたとは」どういうことか。

総務課長 国外ですと、十

何時間も飛行機を乗り継いで行き、現地に着いてすぐ公務に当たれるよう配慮して座席を選定した。

喜久山議員 町のすべての

ことに最終決定権を担う町長へ、当局は人間ドックを受診するように言えなかったのか。

総務課長 医学的な証明で

はなくスケジュールに配慮したということである。

金城司副町長 ここ数年

町長が人間ドックを受けていなかったのは、予約はしていたが、急な公務が入り受診ができなかったのが5年間続いたということである。

喜久山議員 今年もまたハ

ワイに行かれると思うがそのときの座席は。

総務課長 横になって寝る

ような広いスペースではなく、通常の席より少し横幅があるプレミアムエコノミーである。

喜久山議員 エコノミーと

プレミアムエコノミーの差額は自己負担になるのか。

総務課長 公務で行くので

公費ということになる。

喜久山議員 町の規定で決

まっているのか。

総務課長 規定にはないが

支出できないというわけではない。



山里 均 議員

防災・災害等の表示板設置

山里議員 令和3年度から令和6年度までの避難経路板、海拔表示板等の設置件数は。

仲間一町長 令和5年度

に伊芸区で国道329号沿いからキャンプ・ハンセンゲート42にかけて避難経路案内板を3基設置し、令和6年度にKINサンライズビーチから一時避難場所となる駐車場までの案内板と金武チームパークゴルフ場から並里区民広場までの避難経路案内板を16枚設置している。

山里議員 防災無線が一部稼働しない箇所があるが、修繕・修理の改善状況を伺

う。

町長 防災無線システムの設置から約10年が経過しており、経年劣化による故障箇所が増加している。従来のネットワークシステム接続方式では、中継ポイントの一部に不具合が生じると、その先のエリア全体で放送不能となる構造となっているため、伊芸及び屋嘉区事務所、海岸沿いに設置された防災システムにおいて、「SIM通信方式」による新たな接続方法を導入した。今後、システムの入れ替えについても検討しながら、修繕を進めていく。

山里議員 本年度の避難経路板・海拔表示板等の計画は。

町長 ユイニー高台、ゲート42前、渡慶頭ゲート46・47付近、屋嘉西児童公園、中川小学校付近の海拔表示を始め、その他必要な設置場所を特定し、海拔20メートル以上の地点につい

ても、表示板を設置する予定である。

山里議員 渡慶頭原・伊芸区・屋嘉区自主防災会の3組織との連携を伺う。

島袋博総務課長 3地区自主防災会については、組織ごとに活動に差が出ている現状がある。特に伊芸区は最近熱心に避難訓練を実施しており、他の自主防災会にも情報を共有して活動を活発にしていきたい。

山里議員 3地区自主防災会は避難訓練時の炊き出しに使用する最小限の買い物など防災会が支出している現状があるが支援する考えはあるか。

町長 炊き出し等に使用する資機材等については、現在、役場総務課において備蓄している。今後は資機材や備蓄食料等を各組織において、保管できる量を相談の上、前もって各指定の場所に設置していきたい。

伊芸地区公民館の雨漏り等

山里議員 伊芸地区公民館の雨漏り、吹き込み被害の調査結果は。

比嘉貴一教育長 台風接近時や大雨警報が発令された際には、排水口設備の点検、ドア周辺や窓枠に新聞紙等を詰めるなど事前対策を徹底することで、吹き込み被害は発生していない。さらに、現在発注している

伊芸地区公民館外壁修繕業務の中で、2階会議室の外壁亀裂箇所のコーキング充填を施すなどの対策を行っている。旧区長室及び平成28年度に増築した事務所の雨漏りについては、現在も解消されていないため、今後、専門業者による調査を行い、効果的な改善策を実施していく。

町では、「金武町公共施設戸別計画」、「社会教育施設長寿命化計画」等を策定し、耐震強度が保持されて

いる施設については長寿命化を図ることとしており、本方針に基づき、公民館の修繕、改修及び機能向上に努めている。

山里議員 区民は建て替えを望んでいるが、町の見解は。

教育長 これまでに区から建て替えの要望は受けていない。

伊芸地区公民館体育館法面のフェンス

山里議員 町道伊芸21号線は区民の主要道となっており台風や突風で崩壊の危険性を感じているが防止策を伺う。

教育長 伊芸地区公民館海側のフェンスは経年劣化により支柱が錆びるなどの状況を確認している。

施設を安心安全に利用できるよう、区と相談しながら早急な改善に取り組んでいく。



仲村 広美 議員

町民の健康増進

仲村議員 「うちなー健康経営宣言」についての進捗状況は。

仲間一町長 令和7年3月に県内自治体で初めての事業として全国健康保険協会へ申請を行い登録している。今後のスケジュールとしては、宣言証の交付式と併せて、町役場を含む町内事業所の働き世代の健康づくりを推進する目的で全国健康保険協会・金武町商工会・金武町役場で三者協定の締結式を6月17日に予定している。

仲村議員 商工会と今後の目標等話し合いはされているか。



うちなー健康経営宣言証

町長 特に働き世代の健康づくりに重点を置き、町内事業所に向けて、健診受診率の向上や健診結果をまとめた事業所カルテの作成や、健康講座等の開催など三者で連携し、取り組んでいく予定である。

仲村議員 特定検診受診率アップの対策としてのインセンティブ事業とは。

伊芸慎一郎住民生活課長 特定健診受診者で保健指導まで受けた方を対象に約2000円分の商品と交換できるチケットを配布している。また、受診勧奨のためにAIを活用したDMはがきを送付して受診勧奨に取り組んでいる。

機構改革

仲村議員 先進地視察の成果と今後の取り組みは。

町長 窓口の運用、人員配置などを視察し窓口の集約による利便性の向上を確認した。特に支援を要する児童及び世帯については、母子保健、児童福祉、教育等の関係部署が集約されることで切れ目のない支援の充実が図られていた。また、首長部局が所管する児童福祉と幼児教育施設を教育委員会へ移管すること、文化行政とスポーツ振興に係る業務等を首長部局へ移管することについて制度的な支障はないが、それぞれの課が所管する事務分掌に係る条例等の改正及び事務委任や補助執行等移管に係る手法について、継続して調査研究する必要がある。今後は、機構改革を所管する総務課を主体に本町の規模にあった条例改正と人員配置

等の中で最も住民の利便性向上に繋がる機構改革のあり方、新たな複合庁舎における窓口の配置等を決定し計画的に取り組んでいく。

仲村議員 視察に行った担当課で意見を持ち寄った話し合いはされたか。

島袋博総務課長 情報の共有はしているが、一堂に会しての会議は行っていない。

複合庁舎建設

仲村議員 補助金の交付内示予定と最終確定日はいつか。

町長 補助先との協議、調整により決定されるため、実施設計完了を目的に速やかに協議、調整を進めている。

仲村議員 内示後に減額されるケースはあるか。

町長 実績に基づき交付されるものとなっており、実質的な減額はない。

仲村議員 物価高の中で交

付金、補助金決定後に建築費が増額となった場合の対応は考えているか。

安富祖勧複合庁舎整備推進課長 国の補助金の枠に弾力性がある場合は協議によって対応できる可能性があるが、確実ではない。

仲村議員 補助金の増額が無い場合の財源の確保はどう考えているか。

複合庁舎整備推進課長 町の財政状況も踏まえて財政担当課と協議調整をしている。

仲村議員 財政の面から他の事業への影響が懸念されるがどう考えているか。

町長 庁舎建設以外にも将来対応しないといけない事業がある。ローリング計画で各課の状況を取りまとめ、財政検討委員会でも採みながら、財政計画に沿った形で対応できるよう年次計画を立てて調整しているところである。



伊藝 直樹 議員

中川区

伊藝議員 区内の単独処理

浄化槽と合併処理浄化槽の戸数は。

仲間一町長 中部保健所

から提供された浄化槽台帳に登録がある単独浄化槽が56基、合併処理浄化槽が89基となっている。

伊藝議員 金武町合併処理

浄化槽設置整備事業補助金の交付件数は。

町長 新築に伴う合併処理浄化槽設置整備に対して令和4年度1件、令和5年度0件、令和6年度1件となっている。

伊藝議員 中部保健所と浄

化槽管理に係る講習会を実施してほしいが。

町長 指導監督を担い、設置者講習会を主宰する中部保健所に市町村開催の実施に向けた確認をしたところ、各保健所において定期的に実施していることから、市町村ごとに講習会を行うのは難しいとの回答を得ている。

伊藝議員 中川小学校前の

バス停留所は黒いコケが広がり景観的にも良くないがどう感じたか。

島袋博総務課長 掃除で

きるように対処していきたい。

伊藝議員 鉄骨が錆びれ

て、雑木が茂っている箇所があるが今まで放っているのはなぜか。

総務課長 現場で壊れた箇所を確認している。修繕で

きるように対応したい。

農業振興

伊藝議員 ジャンボタニシ

の駆除について伺う。

町長 活動が活発になる時

期に合わせ、町から各農家に防除農薬を配布し、一斉防除を実施している。また、一斉防除を前に水稻農家を対象とした講習会を開催している。

伊藝議員 今後どのような対策を取るのか。

伊藝勲農林水産課長 駆

除を行っても一時的に近接の遊休地、水路等に避難して繁殖して戻ってくるといった状況が見受けられるため、各農家の対策に加えて、地域全体で被害対策、徹底的な防除を実施することが重要だと考えている。

伊藝議員 馬鹿苗病、コブ

ノメイガの防除について伺う。

町長 馬鹿苗病について

は、沖縄県より種もみの優良原種を入手することにより、馬鹿苗病に感染して

いない種もみを生産し、無償配布している。また、毎年開催される水稻講習会にお

いて馬鹿苗病の防除につ

ても講習を実施しており、防除効果の高いDMI剤による種子や育苗箱の消毒を推奨している。コブノメイガについては、毎年実施している水田作物一斉防除に係る無償配布農薬がコブノメイガにも有効であることから、それら事業の活用及び農薬購入補助事業等を活用していただくよう周知・サポート支援を図っている。

伊藝議員 馬鹿苗病は苗箱

で発生した苗を抜き取ることで大事だがその辺はどう考えているか。

農林水産課長 飛散した胞

子が健全な種もみに付着することで感染するため、作業場や育苗箱、機具に菌が付着していないか対策し、

植え付けに入っていくことが一番の策だと考える。

伊藝議員 コブノメイガは

消毒が遅れると葉に影響が出るのでその辺の周知をしてほしいが。

農林水産課長 コブノメイ

ガは9月から10月にかけて発生すると聞いている。トレボン剤が有効だと証明されているので広報等で周知を徹底していく。

伊藝議員 金武町特産品加工センターでの農作物の品目と取扱量は。

町長 令和6年度実績として、田芋を町内117農家から18・3トン、紅芋を町外6農家から37・3トンを受け入れている。

伊藝議員 加工品の販売に

ついて伺う。

町長 田芋皮むき真空や田芋ペースト、田芋パイなどを小売店に卸している。

伊藝議員 町内の雇用について伺う。

町長 現在正職員として4名が在職しており、うち3名が町内雇用として常勤製造部門で勤務されている。

馬鹿苗病とは

主にイネに発生するカビの一種によって引き起こされる感染症。



大城 政敏 議員

複合庁舎(役場)と福祉センター

大城議員

役場建設については、平成19年10月、沖縄防衛局に、自衛隊をキャンブ・ハンセンに受け入れる代わりに役場建設費用負担の要請を行っている。その後、平成30年に、内閣官房長官に対し、嘉手納以南の米軍基地倉庫群をキャンブ・ハンセンに受け入れることを条件に、役場建設費用負担を要請し、平成31年、令和元年に町長は、施政方針の中で役場建設に取り組むことを表明し、福祉センターを解体し、その跡地に役場を建設するための事業を進めている。

令和2年2月28日に、用地検討委員会から役場敷地は福祉センター周辺と答申されているが、同委員会の副委員長だった教育長は、令和5年9月議会において、「一般的に『周辺』とは、その近くというものである。『周辺』という文字にこだわって福祉センターを除く部分というような解釈は当時からなかった」と答弁しているが間違いないか。

比嘉貴一教育長 図上に大きく位置を付けて、このあたりということで決定した。

大城議員 福祉センターは、平成11年10月に完成し、築25年しか経過していないが10月までに壊さなければならぬ理由は。

安富祖助複合庁舎整備推進課長 複合庁舎に保健福祉センターを統合するということを決めてきたということである。

大城議員 福祉センターを壊すにあたり、建物の強度

や修繕費用等について、事前に専門家に調査をさせて意見を聞いたか。

複合庁舎整備推進課長 壊さないといけない理由を探するための専門家の調査等は行っていない。

大城議員 令和4年8月19日に実施したアンケート調査の項目に、福祉センター等周辺として「等」を入れた理由は。

仲間一町長 同センターを含め、その敷地や一帯の公共施設用地も対象に含める表現となっている。

大城議員 福祉センターはこの財産か。

複合庁舎整備推進課長 町民、町全体の財産と認識している。

大城議員 建設検討委員会が福祉センターを取壊してその跡地に役場を建設するように答申している理由は。

町長 役場機能が分散していることによる行政手続きの不便さや駐車場の不足、同センターの老朽化や段差のある動線、台風時の屋根瓦の飛散や雨漏り、設備の度重なる修繕に伴う維持管理費等についての課題解決を図るものとなっている。

大城議員 建設検討委員会が敷地の選定を答申できるのか。

町長 町で用地を決定している。

大城議員 複合庁舎(仮称)建設基本構想、同基本計画の策定年月日は。

町長 令和3年度に同基本構想、令和4年度に同基本計画を策定している。

大城議員 どのような方法で策定されたか。

町長 用地検討委員会、建設検討委員会の審議、答申、町民アンケート調査、地域説明会、職員アンケート等を踏まえ、総合的な計画としてまとめられたものである。

大城議員 令和7年度の一一般会計予算の可決に際して、福祉センターを取壊してその敷地に複合庁舎(役場)を建設することについて、町民アンケートを実施すべきであると少数意見が留保されているがアンケート調査を実施する考えはあるか。

複合庁舎整備推進課長 アンケート調査を実施する考えはない。

町長 アンケート調査については、課長が答弁したとおりである。

複合庁舎(仮称)建設検討委員会の組織及び運営に関する規則



池原 務 議員

国道バイパスから町道 111号線へ入る交差点 の交通安全対策

池原議員 開通してからの
事故件数、事故内容を伺う。

仲間一町長 平成31年3

月に、同バイパスが開通し
てから当該箇所の交通事故
件数は5件である。

池原議員 開通してからの
事故件数としては多いのか
少ないのか。

島袋博総務課長 重大な
事故が5件も発生している
ということなので感覚的に
は多いと認識である。

池原議員 これまでの交通
安全対策について伺う。

町長 同バイパス開通後の
令和2年3月に、同交差点

にカーブミラーの設置を
行った。また、北部国道事
務所への令和元年度の交通
事故報告の際に、新たな標
識等の設置を要望し、「S
TOP前方優先道路につき
一時停止願います。」と記
載した仮設の看板を設置す
るなどの安全対策を講じて
いく。

池原議員 バイパスから町
道に合流する地点に黄色の
ドラム缶(クッションドラ
ム)のような「止まれ」の
標識が無くなっているが把
握しているか。

総務課長 屋嘉方面から金
武中学校に向かって上がる
ところにあつたという風に
認識している。北部国道事
務所の管理が撤去したとの
ことであるが、その後、「止
まれ」の看板を設置したと
認識している。

池原議員 今後の対策につ
いて伺う。

町長 複合庁舎完成後に交
通量が増加していくことが

予想されるため、同バイパ
スから町道にかけての上り
坂に、減速を促すための立
て看板等の対策や、新たな
信号機設置を視野に入れ
て、石川警察署と意見交換
を行い、より良い安全対策が
できるよう取り組んでいく。

池原議員 同交差点は、町
営プール、図書館、武道館、
中学校、小学校、市街地へ
のアクセスも良く、今後の
複合庁舎完成後は多くの方
が町内外から利用する非常
に重要な交差点であり、
ウォーキング等でも多くの
方が利用している。重大な
事故が発生する前にも早め
の対策が必要であるがいつ
頃からやる予定か。

町長 同箇所については、
交通事故が多いという認識
で、以前から事あるごとに
警察署、沖繩総合事務局と
の懇談会で取り上げて、早
めに取り組んでいただくよ
う要望しているところであ
る。



国道 329 号金武バイパスから町道金武 111 号線へ入る交差点



與那城 直也 議員

パークゴルフ場の災害時を想定した避難経路の整備

與那城議員 地震発生時の津波の発生を想定し、早期に高台へ避難するため、パークゴルフ場の避難経路短縮のための階段等の整備の実現性は。

仲間一町長

当該箇所は海岸沿いで住宅地から離れている場所となっており、施設利用者は殆ど車両での来場となっているため、津波災害にかかる避難については、警報後、徒歩ではなく車での避難を推奨している。

與那城議員

当該箇所は海と丘陵に囲まれており、地

震が起きた場合、崩壊や寸断される可能性があるため、防災機能を整えるべきだと思うが。

島袋博総務課長

パークゴルフ場については、住宅地から離れていて海岸沿いということもあり、ほとんどの利用者が車で来場していると思われるので車での避難移動を推奨している。

與那城議員

海岸道路が1本であり、地震で崩壊した場合、山に避難することになる。階段を整備するべきだと思うが。

総務課長

海岸道路については行き止まりではなく東西どちらの方向にも避難できるため、車での避難をさせていただいたほうがよい。

與那城議員

もしもの場合を考えて、階段を整備した方がよいと思うが。

総務課長

現場を確認したが、かなりの高低差があるため、階段を整備するのは現実的ではない。仮に整備

した場合、そこから土砂災害の恐れがある。場所の特殊性、利用者の特殊性を考えると、車での避難が一番である。

與那城議員

公園等にある擬木の階段でもいいのでお願いしたい。

総務課長

現状での階段の整備は厳しいというのが町の認識である。車での避難をお願いしたい。

與那城議員

予算的な問題か。造りたくないというところか。

金城司副町長

当該箇所はかなりの高低差があり、50段近い階段になると思う。パークゴルフ場の利用者は年齢層の幅が広いが、70代、80代の方も利用しているため、階段を利用するよりも車での避難が断然早く避難所に到着すると思う。

與那城議員

何人か人が起こったらずいではないかというところで提案している。車で移動できないとき

のことを考えてはどうか。

副町長

パークゴルフ場前の町道251号線が寸断された場合とのことだが、東西どちらにも避難できるためどちらかに避難していたきたい。

屋内運動場の利用率向上のための取り組み

與那城議員

使用料金の運用実態は。

比嘉貴一教育長

ウォーキングコースは無料としているが、アリーナについては、料金表に定める使用料を徴収している。

與那城議員

近隣自治体のように夕方以降に最低限の照明を常時点灯し、その範囲内での町民利用については料金を徴収しないといった運用に見直す考えはないか。

教育長

夕方以降、利用者がいない場合は電気料金の節減のため消灯しているが開館時間内は事務所に職員

が待機しており、利用者が訪れた際には点灯している。なお、ウォーキングで利用した際の照明料金は無料となっている。

與那城議員

屋内運動場の稼働率向上に向け、町民の利用促進を図るための取り組みや、制度の見直しを検討する考えはあるか。

教育長

特定の目的の施設では、公平性の観点から施設を利用する際に使用料を負担いただいており、町では、受益者負担の考えに基づき使用料徴収は施設の管理運営のため必要と考えている。



夜間の屋内運動場



池原 政文 議員

美徳川河口の堤防

池原議員 現場の状況は。

仲間一町長 堤防の下部

が空洞化している部分や経年劣化によるひび割れが発生している場所を確認している。

池原議員 堤防の管理は。

町長 県が管理する海岸保全区域内に整備された施設であり、沖縄県北部土木事務所が維持管理を行っている。以前にも堤防の損傷状況について情報提供しているが、補修の実施には至っておらず、再度補修の要請を行った。

池原議員 砂の除去はどのように管理か。

伊芸剛建設課長 河口の

浚渫は町の管理で行っている。

池原議員 砂の取りすぎで基礎部分が露出しているのではないか。

建設課長 浚渫する際には砂を取りすぎることとはやっていない。満潮時、干潮時の潮の動きや台風時の影響であると考えている。

池原議員 今後の対応は。

町長 堤防の損傷が拡大し周辺地域に被害を及ぼさないよう、引き続き県へ早急の補修実施を要請している。



基礎部分が露出している護岸

伊芸海浜公園の管理等

池原議員 公園管理棟等の

利活用の促進について伺う。

町長 指定管理者である伊芸区から、老人会等の活動で当該施設の利活用を調整していると同っており、指定管理者からの今後の活用について確認しながら協力していきたい。

池原議員 公園内街灯を深夜に半数以上を消灯する理由は。

町長 施設の供用開始後、周辺住民から眩しいとのこと意見があり、区長と調整し、18本中9本を夜10時頃に消灯するように設定している。

池原議員 住民の方から暗くて防犯灯になっていないという意見がある。区長とも調整して元に戻せないか。

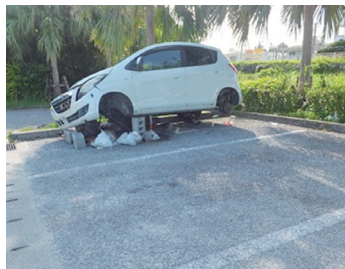
建設課長 現場確認したところ、街灯がない西側について少し暗いと感じるので区と調整していきたい。

池原議員 周りに木が生い茂って機能を果たしていない街灯についても対応していただきたい。

建設課長 建設課の高所作業車があるので区と協力しながら明るさを確保できるように努めていく。

池原議員 西側公園駐車場に長期間放置されている軽乗用車について伺う。

町長 条例に基づき、撤去を行うよう張り紙をしている。引き続き警察や指定管理者と連携しながら撤去してもらえよう対応している。



公園駐車場に放置されている乗用車

池原議員 子どもが下に潜り込んだら危険なので早めに対応していただきたい。

建設課長 石川警察署の協力が得られ、車体番号から所有者の確認が取れたが既に転売しているとのことである。

所有者を確認して、弁護士とも相談して手続きを進めていきたい。

池原議員 地元行政区の指定管理者と現状等の協議は。

町長 条例の規定により、利用状況や経営状況等について報告を頂いており、内容について適宜確認を行っている。また、問題等が発生した際には、その都度連絡を頂いており、連携して修繕等の対応を行っている。

池原議員 金武地区公園では250万円以上も予算をかけて会計年度任用職員が管理しているが伊芸海浜公園については108万円です。委託している。108万円では予算が足りないが、今後どのように伊芸区と協議していくのか。

建設課長 今後指定管理協定を結ぶ際には維持管理の面、公園の利活用についても伊芸区の意見を聞きながら協定締結に向けて取り組んでいきたい。



島袋 彩花 議員

基地対応の取りくみ

島袋議員 キャンプ・ハンセン内で行われた講話の趣旨・目的は。

仲間一町長 新たにキャン

プ・ハンセンに配属された隊員を対象とした教育プログラムの一環として、事件・事故等の未然防止を目的に20年以上前から実施されている。

島袋議員 講話直後に米兵

軍属による事件が発生している。沖縄で今まで起きた事件、事故の歴史なども講話の中に盛り込み、講話の内容の見直しを検討するべきだと考えるが、町としてどのように見直しを反映させていくか伺う。

町長 これまでの歴史等を踏まえた上で、未然に事件、事故を防止することを目的により効果のある内容に改めていきたい。

島袋議員 米軍人による犯罪抑止に向けた日米のフォーラムの構成メンバーは。

町長 在沖米軍、在沖米国

総領事館、沖縄県、沖縄県警、外務省沖縄事務所、沖縄防衛局となっており、町からの参加はない。

産後ケア

島袋議員 産後ケア事業の

具体的な内容は。

町長 利用者の個々のニーズに合わせて利用できるよ

う委託先の医療機関、助産院に業務を依頼している。ケアの利用方法については、宿泊型、デイサービス型、訪問型があり、お母さんの状況と意向に応じて組み合わせることで利用することが可能である。

島袋議員

対象とならない

お母さんたちをどのように受け止めているか。

知念久保健福祉課長 対

象であるのに関わらず、どのような支援ができるのかについて町としては積極的に関わっていききたいと考えているので町にご相談いただきたい。

島袋議員 面談や窓口へ行

くことさえも大変というお母さんたちも多いので窓口に行かずに申請できるようにしてほしい。また、金武町では3回しか使えないというハードルの高さがある。誰でも使えるようにしていただきたいが。

保健福祉課長 産後ケア事

業については、国が示しているガイドラインに沿って町も策定している。国では利用を7回以内としているので、町でも今後増やしていく方向で考えている。実際に、既に5回利用している方もおり、必要に応じて上限以上に利用できるよう

にしていく。また、窓口に行かなくても申請できるような体制もこれから構築していきたいと考えている。

島袋議員 利用者からのア

ンケート調査はどのような声が多かったか。

保健福祉課長 令和5年に

産後8ヶ月の方にアンケートを行っている。保育園、経済面、産後の身体、仕事の復帰、ファミリーサポートに関する事等のご意見があった。

PFAS

島袋議員 河川だけではな

く地下水を含めた調査はできないか。

町長 令和7年度に金武地

区・並里地区の地下水のPFAS水質検査を実施する予定であり、検査完了後、速やかに町ホームページ等で公表していく。

島袋議員 普天間基地から

大量の泡消火剤が流出した事故で、河川の結果

検出されたPFASの90%以上が6…2FTSであったことが判明した。検査対象に6…2FTSも加えていただきたいが。

伊芸靖上下水道課長 今

後調査を進めていく中で6…2FTSを含めた調査ができるか検討させていただきたい。

6…2FTS(ロクニーフティーエス)とは

有機フッ素化合物(PFAS)の一種

普天間飛行場周辺の湧水等から検出された。泡消火剤関連物質と考えられている。泡消火剤流出事故時に一時的に高い濃度が検出されている。





前田 健次 議員

鳥獣被害防止等

前田議員

鳥獣被害の実態、駆除件数、現在の対策等は。

仲間一町長

鳥獣被害の実態については、イノシシやカラス、シロガシラ等による種苗の食害や苗の引き抜き被害が確認されている。

令和6年度の駆除数は、イノシシ122頭、カラス234羽、シロガシラ189羽を駆除している。現在の対策としては、金武町鳥獣被害防止対策協議会を設立し、金武町鳥獣被害対策実施隊により農作物被害防止に係る駆除を行っている。

前田議員

野生鳥獣による農業被害の対策として農家にどのような周知をしてい

るか。

農林水産課長

圃場の維持管理、野生鳥獣等が出没しにくいような緩衝地帯の整備、進入防護柵等を設置するように周知している。

前田議員

名護市では狩猟をされている方は銃のメンテナンスにも費用がかかるということ、1頭当たり7800円の手当を支給しているとのことだが、金武町では奨励金制度の導入予定は。

伊藝勲農林水産課長

国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して、日当5500円の賃金をお支払いしている。奨励金制度については、今後、鳥獣被害対策実施隊とも報酬制度の在り方について意見交換しながら考えたい。

前田議員

狩猟免許の受験申請は町民にどのように周知しているのか。

農林水産課長

ポスター等を目に付く場所に掲示して

周知を行っている。SNS媒体等での周知も必要だと感じている。

育英資金貸付制度

前田議員

保育士や幼稚園教諭、教員を目指す学生を対象に、条件付き返済免除型の育英資金貸付制度を創設する考えはあるか。

比嘉貴一教育長

育英資金貸付制度の趣旨から、職種を限定した制度を設けることは難しく、また、返済を免除すると、資金が枯渇することから、現段階で返済免除型給付制度を創設することは厳しいと考えている。

前田議員

返還の免除について、教育長が特別な事情があると認めるという条文があるが特別な事情とは何を指すのか。

教育長

育休に入ってから働くことができないという場合に数か月返還を免除する対応することである。ただ、

経済状況が好転した場合に返還していただくということであり、ご提案されているような返済の免除ということではない。

前田議員

経済的困難な状況に置かれた方々のことを考えると返還の猶予ということも大事だろうと思うが免除ということに関しては全く考えていないということか。

教育長

現在の事業は町民の方々から募った寄付金で成り立っており、未来にその財産を残していくことが大切であるため、この基金を使って返済免除型給付制度を実施して基金が枯渇するようなことはできない。新たな事業を行う際には、継続して歳入予算が組めるような財源の確保が必要だと考えている。

前田議員

県内南部のある自治体では保育士や幼稚園教諭、教員を目指す学生などを対象に条件付き返済免



イノシシによる掘り起こしの被害を受けた農地

除型の就学資金貸付制度を創設したという報道があった。保育士の確保、教員の雇用、学校現場の働き方改革という厳しい状況にある中で、再度検討する考えはないか。

教育長

給付型の事業をやりたいくないということではなく、給付型の事業を開始するには、継続した歳入の財源が必要だということである。また、職種を限って事業を行うことが町村において可能なかということも議論する必要があると考える。

令和7年 第2回（5月）臨時会

令和7年第2回臨時会が5月19日（月）に招集され、1日間の会期で開催された。

臨時会では専決処分の承認を審議し、採決の結果可決となった。また、「米兵による暴行事件に関する意見書・抗議決議」を審議し、採決の結果可決となった。

議決結果は下記のとおり。

令和7年 第2回（5月）臨時会 議決結果一覧

件 名	議決結果
専決処分の承認について（金武町税条例の一部を改正する条例） 地方税法の一部を改正する法律が令和7年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、金武町税条例の一部を改正し、令和7年4月1日から施行する必要があるため、議会の議決を付すべき事件について、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法第179条第1号の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
専決処分の承認について（金武町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例） 沖縄振興特別措置法及び地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の関係省令の改正が令和7年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、金武町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正し、令和7年4月1日から施行する必要があるため、議会の議決を付すべき事件について、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法第179条第1号の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
専決処分の承認について（金武町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金施行令の一部を改正する政令が令和7年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されることに伴い、金武町国民健康保険税条例の一部を改正し、令和7年4月1日から施行する必要があることから、議会の議決を付すべき事件について、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法第179条第1号の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
米兵による暴行事件に関する意見書 ※詳細は18ページ	可決 (全会一致)
米兵による暴行事件に関する抗議決議 ※詳細は18ページ	可決 (全会一致)

令和7年 第3回（6月）定例会

令和7年第3回定例会が6月10日（火）に招集され、13日（金）までの会期で開催された。

一般質問は13名の議員が登壇した。

各会計の補正予算や条例改正などの議案が上程され審議を行った。

議決結果は下記のとおり。

令和7年 第3回（6月）定例会 議決結果一覧

件 名		議決結果
令和7年度 金武町一般会計補正予算 (第2号)	原案 歳入歳出それぞれ2億3,174万1,000円を追加し、総額128億5,072万5,000円とするもの。補正の主なものは屋嘉団地建替事業に係る既存建物の解体工事費、沖縄バス減便等に伴う中部地区へ通学する高校生を支援するためのマイクロバス等の使用料である。	原案可決 (賛成多数)
	修正案 沖縄バス減便等に伴う中部地区へ通学する高校生を支援するためのマイクロバス等の車借上料について、ルートが未定で対象人数も把握されておらず、運行形態などが一切決まっていないことからその費用を減額するもの。	否 決 (賛成少数)
金武町財政調整基金の処分について 給料、職員手当、共済費及び町営住宅屋嘉団地解体工事等に充てるため財政調整基金から一般会計へ3,627万2,000円以内を充当するもの。		原案可決 (全会一致)
令和7年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ376万2,000円を追加し、総額を18億1,760万9,000円とするもの。補正の主なものは人事異動に伴う人件費の増額である。		原案可決 (全会一致)
令和7年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ13万4,000円を減額し、2億3,600万4,000円とするもの。補正の主なものは人事異動に伴う人件費の減額である。		原案可決 (全会一致)
金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、立会人等の報酬額を改正するもの。		原案可決 (全会一致)
土地の処分について 沖縄県が施工する億首川河川改修事業用地として町有地を処分するため、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産または処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を得るもの。		原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
令和7年度金武町水道事業会計補正予算(第1号) 収益的支出の水道事業費を61万円増額し、6億1,722万6,000円とするもの。補正の主なものは、収益的支出について人事異動に伴う人件費の増額である。	原案可決 (全会一致)
物品の取得について 品 名:学習用パソコン(Chromebook) 購 入 先:OCC・興洋電子・学映システム共同企業体 購入価格:2,521万8,732円	原案可決 (全会一致)
物品の取得について 品 名:金武町立学校ICT機器機能強化事業(電子黒板購入) 購 入 先:西日本電信電話株式会社 沖縄支店 購入価格:918万5,000円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名:金武町堆肥センター施設機能強化工事(建築) 契約の相手方:(有)照喜名建設 契 約 金 額:5,005万円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名:金武町堆肥センター施設機能強化工事(機械) 契約の相手方:國和設備工事(株) 契 約 金 額:4億1,019万円	原案可決 (全会一致)
教育委員会委員の任命について 前田直美氏を金武町教育委員会委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (全会一致)
監査委員の選任について 金城健氏を金武町監査委員に選任するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
米兵によるひき逃げ事故に関する意見書 ※詳細は18ページ	可 決 (全会一致)
米兵によるひき逃げ事故に関する抗議決議 ※詳細は18ページ	可 決 (全会一致)
議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)

**米兵による暴行事件に関する
意見書・抗議決議**

今年3月、米軍基地内の個室トイレで面識のない基地従業員の女性に性的暴行を加え、さらに止めに入った別の女性の顔を足で踏みつけ、背後から首を絞めるなどしてけがを負わせたとして、4月30日那覇地方検察庁は在沖米海兵隊員の男を起訴した。

今回の事案をはじめ類似の事件が繰り返し発生しており、女性の人権と尊厳、安心・安全な職場環境が脅かされている現状は、一刻も早く抜本的な改善を行う必要があり、事件を防止できなかった日米両政府の責任は極めて重大である。

これまでも金武町議会は、同様の事件が発生するたびに綱紀粛正、再発防止等を徹底するよう米軍をはじめ関係機関に強く申し入れてきたところであるが、またしてもこのような凶悪事件が発生したことは、再発防止策が機能していないものと言わざるを得ない。軍人等への人権教育を見直し、徹底するとともに、具体的かつ実効性のある対策を目に見える形で早急に実施することが強く求められる。

よって本町議会は、町民の生命、財産、人権を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 被害者への謝罪及び完全な補償と丁寧な精神的ケアを行うこと。
- 2 米軍基地内外で起きる事件・事故の再発防止に係る具体的かつ実効性のある対策を実施すること。
- 3 米軍構成員等の綱紀粛正の徹底を図ること。
- 4 日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年5月19日

沖縄県金武町議会

意見書あて先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官 沖縄及び北方対策担当大臣

外務省特命全権大使(沖縄担当) 沖縄防衛局長

決議あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在沖米軍総領事

**米兵によるひき逃げ事故に関する
意見書・抗議決議**

令和7年5月25日午前10時半ごろ、那覇市安謝の国道58号でキャンプ・ハンセン所属の米海兵隊上等兵が運転する乗用車が、家族5人が乗る乗用車と衝突し、横転させるなど計4台が絡む事故が発生した。海兵隊員はけが人を救護することなく現場から立ち去り、付近にいたところを駆け付けた警察官に逮捕され、その呼気からは飲酒運転基準値の約2倍のアルコールが検知された。

昨今、米兵による事件事故が相次ぎ、5月23日から26日までの間に4人が逮捕されるなど異常な事態である。

金武町議会は、事件事故が発生するたびに綱紀粛正、再発防止、教育の徹底を、米軍をはじめ関係機関に強く申し入れてきたところである。それにもかかわらず、事故が発生したことは極めて遺憾であり、怒りを禁じ得ない。今回の飲酒ひき逃げ事故は、町民に不安と恐怖を与えており、発生を防げなかった日米両政府の責任は重大である。

よって本町議会は、町民の生命、財産、人権を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 被害者への謝罪及び完全な補償を早急に行うこと。
- 2 事件・事故の再発防止に係る具体的かつ実効性のある対策を実施すること。
- 3 米軍構成員等の綱紀粛正の徹底を図ること。
- 4 日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年6月13日

沖縄県金武町議会

意見書あて先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官 沖縄及び北方対策担当大臣

外務省特命全権大使(沖縄担当) 沖縄防衛局長

決議あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在沖米軍総領事 キャンプ・ハンセン基地司令官

● 令和7年度町村議会議長・副議長研修会 ●

5月27日(火)、東京国際フォーラムで全国町村議会議長会主催の令和7年度町村議会議長・副議長研修会が開催され、金武町議会から外間慎仁議長と吉野潤副議長が参加した。

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官の松本真太郎氏が「広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」、明治大学名誉教授の青山侑(やすし)氏が「平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題」、同志社大学名誉教授の新川達郎氏が「災害と議会・議員の役割」について講演した。



自治体の災害対応力強化について語る松本真太郎氏



災害に学ぶ復旧・復興まちづくりについて語る青山侑氏

● 北部市町村議会議長会 台湾視察研修 ●

7月2日(水)から5日(土)まで北部市町村議会議長会が台湾視察研修を行い、外間慎仁議長と新里朝治事務局長が参加した。

研修では昨年4月に発生した台湾東部沖地震時の対応、避難所の設置状況などについて花蓮市で聴き取りを行った。また台南市では台湾における最新の農業動向について農業改良所を視察した。



花蓮市役所での研修の様子



台南市農業改良所での研修の様子

正副議長・正副委員長研修会

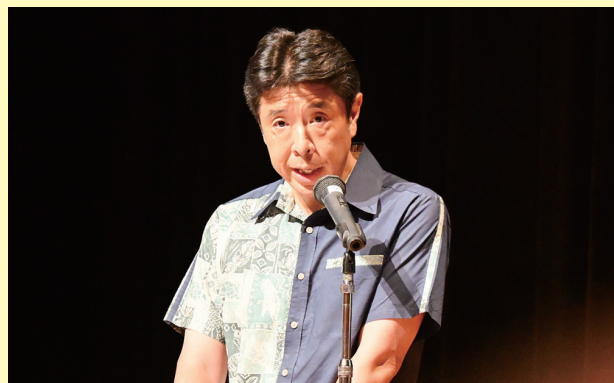
8月19日(火)、南風原町中央公民館で沖縄県町村議会議長会主催の正副議長・正副委員長研修会が開催され、金武町議会から8人の議長・副議長・委員長・副委員長が参加した。

研修会では全国町村議会議長会企画調整部の鈴木毅部長が「議会議員のなり手不足と女性議員の議会参画」と題して議員のなり手不足には「増加する無投票・定数割れ」、「二元代表制の趣旨が損なわれる」、「地方自治の弱体化」の3つの危機が潜んでいると述べた。

また、全国町村議会議長会議事調査部の飯田厚部長が「地方議会が担う主権者教育」と題して議会の役割・責任、議員の職務等の重要性が改めて認識されるよう改正された地方自治法改正について説明し、多様な人材の参画を促すための主権者教育の先進事例を紹介した。



議員のなり手不足と女性議員の議会参画について説明する鈴木毅氏



地方議会の主権者教育について説明する飯田厚氏

傍 聴 案 内

議会を傍聴しませんか。

議会を傍聴しませんか。9月定例会の開会は9月17日(水)を予定しており、日程が決まり次第、戸別受信機やホームページでお知らせいたします。

詳細は議会事務局へお問い合わせください。

※令和7年6月定例会傍聴者数 54人

金武町議会事務局

NTT: 098-968-2292

QRコードを読み取ると
議会中継サイトに繋がります。
金武町ホームページからも
ご覧になれます。

